

令和4年度（2022年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	岬町商工会		
	代表者職・氏名	会長 竹内 邦博		
	所在地	〒599-0303 大阪府泉南郡岬町深日746-748		
	担当者	職・氏名	事務局長（経営指導員） 阪本 敏郎	
		連絡先	TEL（直通）:	072-492-3311
Fax:			072-492-2389	
		E-mail:	misakis@skyblue.ocn.ne.jp	
①設立年月日		昭和41年5月3日		
②職員数 （うち経営指導員数）		5名（経営指導員5名）（令和5年3月31日現在）		
③所管地域				
④管内事業所数		452（平成28年経済センサスー活動調査による）		
⑤管内小規模事業者数		311（平成28年経済センサスー活動調査による）		
⑥会員数（組織率）		261（57.74%） 令和5年3月31日現在		
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること				
<input type="checkbox"/> 主な事業概要（定款記載事項等）				
<p>①商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</p> <p>②商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</p> <p>③商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>④商工業に関する講習会又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>⑤展示会共催会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>⑥商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p>⑦大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。</p> <p>⑧商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。</p> <p>⑨輸出品の原産地証明を行うこと。</p> <p>⑩商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>⑪行政庁等の諮問に応じて答申すること。</p> <p>⑫社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>⑬商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。</p> <p>⑭行政庁からの委託を受けた事務を行うこと。</p> <p>⑮前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p>				

2. 事業概要

岬町商工会

<p>(1) 事業の目標</p>
<p>経営相談支援事業においては、個々の企業等が抱える問題の把握、並びにその課題解決に向けた適正な指導・助言・情報提供を行い、高度な問題等については専門家や支援機関と連携を図ることで、きめ細かな支援を実施していく。</p> <p>また、平成29年4月に全面開通した国道26号線は、岬町を「ただの通過点の町」とする恐れがあるが、一方で、京阪神や和歌山県や奈良県から「人の流れを呼び込む町」とする大きな起爆剤となり得る可能性も併せ持っている。</p> <p>そのため、「人の流れ」を呼び込むべく、販路開拓支援にも力を入れ、事業者が製品・商品・サービス内容を有効にPRできるような、積極的に支援をしていく。</p> <p>岬町の小規模零細企業における営業活動は、経営者やその後継者が行っており、顧客数を増加させるには人手に限界がある。また、資金面でも、広告宣伝や販売促進にかかる資金的な余裕はほぼないという厳しい状況にあり、「商品・サービス」は良いものであるが、広告・宣伝にお金をかけていないため「集客・顧客化」ができてず、結果、適正な利益を生み出せていないというのが実情である。儲けるには広告・宣伝等への投資が必要不可欠であるため、販路開拓に向けた取組みをサポートすることにより、事業者の新規顧客獲得、ひいては収益力向上につなげていく。</p> <p>また、将来発生する可能性の高い南海トラフ地震に伴う津波や、近年大型化している台風等の災害時においても事業を継続できるよう、「事業継続力」を高める支援（巡回指導等）にも力を入れる。併せて、マル経を推薦した事業所や創業して間もない事業所、事業計画作成支援をした事業所および新型コロナウイルス感染症の影響により売上が激減している事業所を中心に、その後「上手く経営できているか」を確認すべく、フォローアップ支援にも積極的に取り組む。</p> <p>地域活性化事業においては、阪南ブロック商工会（岬町・阪南市・泉南市・熊取町・忠岡町）等の広域連携で実施する。事業者（特に時代を担う若手経営者）が、経営ノウハウ等を習得することで、自力で課題を解決し、販売チャネルを確立できるよう、地域資源の有効活用方法や事例を情報提供するほか、町内外の事業者間の交流・連携促進も図り、ワンストップの支援を実施していく。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている多くの商工業者には、国・大阪府・岬町の支援策等の情報をいち早く届け、支援策の活用に向けて親切丁寧に対応するとともに、感染者が事業所内で発生した場合においても、事業を継続できるよう、感染症対策のBCP策定も啓発していく。併せて、経営者自身や従業員が感染した事業所にも、その後の対応について他の機関と連携しながら支援し、新型コロナウイルス感染が理由で廃業する事業所が出ないように全力を尽くす。</p>
<p>(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点</p>
<p>経営相談支援事業については、経験の浅い経営指導員の記帳・経営・金融・労務等の分野にわたる基礎知識やスキル向上を図る必要があったため、経験のある経営指導員がノウハウ等を共有して経営指導員一人一人の資質を向上させるよう努めた。</p> <p>専門相談支援事業は、税務支援及び法律支援・労務支援を実施し、相談者と同席し、税理士・弁護士・社会保険労務士と相談者とのコーディネーター役として、事業継続のための助言を行いながら、税制及び法的な理解・働き方改革等の問題の解決を行った。</p> <p>地域活性化事業については、大阪府・岬町・阪南ブロック4商工会との連携のもと、担当経営指導員が中心となって巡回・電話及び窓口対応を通じて該当する事業所に周知し、事業の参加を促し、事業に参加する上での支援や方策を提案しながら事業を推進した。</p>
<p>(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況</p>
<p>経営相談支援事業は、記帳支援を重視したのでインボイス登録申請をした事業所が約60件あった。地域活性化事業では、3年ぶりの実施となった「おおさか湾もん産産フェアー事業」および「おおさか泉南まるごと商店街事業」等により岬町外の消費者及び観光客の岬町内への誘導を図るため事業に参加した岬町内の小規模事業者は「新規顧客の獲得や売上増加のために自社及び商品等のPRに力を入れていかねばならない」等の意識の変化を与えることができた。管内の小規模事業者には、様々な販路拡大の事業機会を提供することで、地域活性化への一助として機能することができた。その結果、小規模事業者については、積極的な姿勢が見られるようになってきたと感じる。</p>
<p>(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題</p>
<p>経営相談支援事業・専門相談支援事業・地域活性化事業を利用した事業所においては、問題解決への情報提供、支援等を実施する唯一の機関との評価を得るようになってきた。しかし、インボイス登録申請では記帳支援をした50%超がインボイス登録をしなかった。中には10%を転嫁しているにもかかわらず免税事業者であるためインボイス登録をしなかった事業者もいた。</p> <p>また、イベント実施時の新規顧客を本店へのリピーター客へと導く取り組みをする事業者が徐々に増えてはいるが、まだまだ少ないため、もっと増やす方策を考える必要がある。</p> <p>令和2年3月31日限りで廃園となった「みさき公園」の影響を受けた業者については今後も引き続き、その対策も必要となっている。新型コロナウイルス感染症の影響で苦しむ飲食店および飲食店への納入業者等の売上が激減し、経営困難な状況であるため廃業しないような支援を行っていかねばならない。</p> <p>令和4年9月28日には「(仮称)新たなみさき公園整備事業」として民間資金を活用するために民間企業と30年間の事業契約を岬町が締結した。令和5年4月以降から、「みさき公園」の新しい運営事業者が整備工事をスタートする予定であるため、今後はその事業者とも連携し岬町の貴重な観光資源である「みさき公園」を有効活用することで、岬町内の商工業者の売上増等に繋げていくことも重要課題である。また、全面撤退した関西電力・多奈川発電所の跡地に、砥石を製造する民間企業の製造工場もでき地元雇用もあった。そして、この追い風に乗って岬町商工業者も発展していける事業を継続して実施していくことが岬町商工会の責務である。</p>
<p>(5) 次年度の取り組み</p>
<p>新型コロナウイルス感染症および円安・原材料価格の高騰の影響を受け売上および営業利益が激減して苦境に立たされている事業者が廃業しないように支援を続けていく。また、インボイス登録申請の対応など、社会制度や情勢の変化に応じた支援に取り組んでいく。</p>

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 岬町商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

経営相談支援事業は、経験の浅い経営指導員が大部分を占めるので個々の相談事案について、経験の浅い経営指導員を経験のある経営指導員がサポートしながら共に協力して相談事業所の課題解決に取り組むために次のように努めた。

- ①記帳支援については昨年の消費税改正にともない、昨年支援しきれなかった企業の支援と、昨年支援した企業が全てできていなかった「インボイス登録申請」を重点的に支援し約60件近くをインボイス登録申請するところまで支援した。記帳支援をした約半数はインボイス登録申請をしなかったため、次年度はフォローアップ支援でその後の確認をして、最終的にはインボイス登録申請しなければ事業継続困難な事業所の支援に力をいれる。
- ②融資の支援については、日本政策金融公庫の「コロナマル経」・「一般マル経」ならびに他の金融機関との連携もしながら金融支援をした。
- ③労務支援については、労働時間の上限の改正にかかる36協定の締結支援、雇用保険や社会保険の事業所ならびに被保険者の適用や適用除外等についても支援を行った。
- ④国の「事業復活支援金」等の給付金等の相談については可能な限り対応し、特に要件の説明には力を入れた。

代表事例としては、新型コロナウイルス感染症の影響で売上が減少していたサービス&小売事業者が運転資金でマル経融資だけでは困難であったため、他の金融機関と併せての運転資金を支援した事例があった。

今後とも経営指導員が事業者の立場に立った考え方・対応を継続することにより、事業者の方々に商工会への信頼・信用をより深くもっていただける。そうすることで、経営指導員も各種支援・サービスの向上に努めることができ、その結果、地域商工業の振興・発展に繋がる。また、相談を受ける経営指導員の基本方針として、「相談者からの相談内容を真摯に受け止め、可能な限り希望に沿うように支援する」というスタンスで経営相談支援事業に取り組んでいる。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	154	151	98.1%	4
支援機関等へのつなぎ	支援数	5	1	20.0%	2
金融支援（紹介型）	支援数	8	5	62.5%	4
金融支援（経営指導型）	支援数	10	10	100.0%	5
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	3	2	66.7%	4
資金繰り計画作成支援	事業所	3	0	0.0%	1
記帳支援	事業所	65	120	184.6%	5
労務支援	支援数	30	21	70.0%	4
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		
マーケティング力向上支援	事業所	0	0		
販路開拓支援	支援数	5	3	60.0%	3
事業計画作成支援	支援数	5	4	80.0%	4
創業支援	事業所	1	0	0.0%	1
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	2	0	0.0%	1
コスト削減計画作成支援	事業所	5	0	0.0%	1
財務分析支援	事業所	19	0	0.0%	1
5S支援	事業所	0	0		
IT化支援	事業所	0	0		
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		
事業承継支援	事業所	2	1	50.0%	3
災害時対応支援	事業所	0	0		
フォローアップ支援	事業所	0	0		
結果報告	事業所	154	151	98.1%	4

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

2019年改正された消費税法（インボイス登録申請等）に対応し、さらに、事業継続・承継・相続等にかかる税務相談に対応するため、税理士による税務個別相談会を計画どおり3回、弁護士による法律個別相談会を3回開催した。また、今年度は働き方改革・労働時間の上限改正及びコロナ関係の雇用継続の助成金にも対応するため社会保険労務士による労務相談も2回実施した。

これにより、商工業等の相談者が抱えていた諸問題の解決に寄与した。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
税務相談	継続	相談件数	6	7	116.7%	5
法律相談	継続	相談件数	4	4	100.0%	5
労務相談	継続	相談件数	6	4	66.7%	4

4. 地域活性化事業

岬町商工会

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>広域連携事業は、①おおさか湾もん産業フェア事業、②南泉州地域異業種ビジネス交流会事業、③おおさか泉南まるごと商店街事業を実施した。</p> <p>①泉南地域最大のイベントとして定着しつつある「おおさか湾もん産業フェア事業」は、新型コロナウイルスの感染者増加のため令和2・3年度は中止となり開催を断念した。</p> <p>今回は3年のぶり開催となり、従来おこなっていたイベント方法に加え、感染防止対策をどのようにしていくかが実施のポイントとなった。他地域のイベントなどを参考に感染対策の基準を定め、消毒液の設置・マスク着用・密になるブースの中止などをおこないイベントを開催した。その結果、今回のイベントにより感染者が増加したという報告はなかった。</p> <p>通常よりも小規模となり、来客数も前回イベントよりも少なくなったが、新型コロナウイルス感染予防対策をしながらイベントをおこなったという実績ができた。今回の実績をもとに新型コロナウイルスの感染状況ならびに対応を考慮しながら、来年度のイベントに繋げていく。また、出店者に対して感染ステッカーの登録申請の支援も実施した。</p> <p>②「南泉州地域異業種ビジネス交流会事業」は、岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会の連携により実施し、第1部では「販路開拓等にかかる補助金についてのセミナー」を開催した。従来の意見交換会はコロナ禍で実施が難しくなったため、第2部ではミニ交流会&名刺交換を実施した。これにより、新たなビジネスチャンスへの認識を深め、参加事業所が自社の商品・サービスを積極的にアピールする場となった。また、今回も前年に続き事業承継をテーマに取り入れ、さらに「事業再構築補助金」等の補助金もテーマに入れてディスカッションしていただいた。それにより、アンケートでは「事業承継が必要である」との回答が17社あったこともあり、事業承継を積極的に増やしていく第一歩となったと考える。今年は事業再構築に関わる補助金セミナーも実施したため、「事業再構築する必要性を感じる」との回答が5社あった。事業再構築の支援に繋げていく一歩となった。</p> <p>③「おおさか泉南まるごと商店街事業」については、商店街の形成も少なく商店が点在している泉南地域のデメリットを逆を利用してスタンプラリー形式を取り入れ、消費者に対し「商店めぐり」という点を強くアピールし、ゲーム感覚で参加してもらえるよう実施した。</p> <p>さらに、「商店巡り」を大勢の消費者に認知してもらえるように、チラシに地図を入れてカラー刷りにし、参加店には参加店証の掲示と「のぼり旗」を立てて実施していただき、消費者アンケートも実施した。</p> <p>本事業が当初計画の185社より6社多い191社の参加となり、消費者からも開催日時の問い合わせ等もあった。それらの点をふまえ、この事業が地域住民にも浸透してきたため、企業においても本事業に参加することが少しでも販路開拓につながるという意識ができてきていると感じる。また、令和2年度より100円商品だけでなく500円、1,000円商品でも参加できるようにしたため参加事業所も増えてきている。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	おおさか湾もん産業フェア事業	70	59	84.3%	100.0%	自社のPRができた、売上増加・新規顧客獲得ができた企業の割合	80%	77.9%	97.4%	4
	南泉州地域異業種ビジネス交流会事業	60	50.5	84.2%	95.9%	自社のPRができた・新たな取り組みができた、事業間連携ができた、販路開拓ができたという企業の割合	80%	75.5%	94.4%	4
	おおさか泉南まるごと商店街事業	185	191	103.2%	77.0	店舗のPRができた・売上が増加した・新規顧客を獲得できた・新商品または新サービスを開発したという企業の割合	55%	61.3%	111.5%	4

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

岬町商工会

事業名		おおさか湾もん産業フェア事業
想定する実施期間		H24 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>岬町・阪南市・泉南市・熊取町・忠岡町には、さまざまな伝統工芸品・名所旧跡・特産物等地域資源ならびに観光資源を有しているが、これらは地域内で散在し、利用もされず放置されたまま、または、付加価値を見出せず有効活用が出来ない。特に、既存の小規模の商工業者は「商品または製品・サービス」について従来の販売ならびにサービス方法を踏襲されているのが現状となっている。</p> <p>また、5商工会管内には海と山に囲まれた地域でもあるため、零細・小規模な農林漁業者及び農産水産加工業者も多い。</p> <p>しかし、販売チャンネルが従来の農協・漁協を通じての市場へ流通がほとんどで、生産者が希望する価格はつけられず、常に市場が決定する出荷価格に甘んじている現状となっている。</p> <p>そこで、このような事業者に対して販路拡大の機会を設け、連携商工会地域産業全般の活性化及び知名度向上のため、大阪府内及び府外へこれらの資源性を発信し、農林水産事業者・製造業・サービス業・物販業相互の交流を深め、連携を図り、個々の取り扱う製品の評価を高め、さらに、「おおさか湾もん」という、ブランドを確立し、事業所にチャレンジ精神を与え、地域特産品販売の拠点づくり形成に寄与するため本事業を実施した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための措置（3密を避けるための対策・検温・マスク着用・手のアルコール消毒等）も適切に実施し、新型コロナウイルス感染症の拡大の防止を図る。</p>
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>連携する5商工会管内の事業所（岬町452、阪南市1,506、泉南市2,128、熊取町1,239、忠岡町580）合計5,905社（全業種の個人・法人企業）を対象とする。</p> <p>また、創業支援、農商工連携、地産地消等の資源活用のため、創業予定者、農林水産業者等も対象とする。</p>
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>おおさか湾もん産業フェアの開催を計画し、販売・飲食・展示ブースを設置、各種イベントも同時に計画した。</p> <p>◆スケジュール</p> <p>岬町商工会、阪南市商工会、泉南市商工会、熊取町商工会、忠岡町商工会の5商工会管内事業所及び創業予定者等を対象として出店募集を行った。応募企業の新製品・新サービスのPRを支援するためおおさか湾もん産業フェア開催にかかわる情報発信を実施した。また共同開催をする深日漁港協同組合と令和4年6月から5回にわたり打合せを行った。</p> <p>◆開催日時：令和4年10月30日（日）10時00分～14時30分/◆開催場所：岬町深日 ふれあい深日漁港</p> <p>◆具体的な内容</p> <p>支援対象企業59社を含めた73の出店者が参加し73ブース（販売、飲食、展示）を設け、沢山の来店者でにぎわった。</p> <p>集客のためのステージイベントは「みさき軽音クラブ」による音楽ステージイベント・「ピング大会」を実施。展示ブースは大阪府技能士連合会の4ブース、泉南警察署による「ミニパトカー展示」、岬町消防団による消防車の展示、献血コーナー等も出展していただき、官民一体となった泉南地域最大のイベントとなった。</p> <p>◆感染対策について</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ブースごとにアルコール消毒液の設置・感染防止宣言ステッカーの明示・ビニール手袋着用を義務付けた。また密を防ぐため、ブース・休憩テントの配置を工夫し、密になるであろうブース・イベントを精査し取り止めた。</p> <p>来場者にはマスク着用、来場前の体温計測をおこなうようにチラシ・SNSにて記載した。</p> <p>◆本事業の周知方法等</p> <p>岬町商工会・阪南市商工会・泉南市商工会・熊取町商工会・忠岡町商工会の5商工会管内の全事業者及び創業予定者に、本事業への参加を周知するために、新聞折込チラシを配布、また、商工会会報・FAX・SNS等で、開催周知を何度もおこなったうえで、巡回・来所時に売上低下を口にする事業者を中心にPR及び販売促進の重要性を説明し出店要請をおこなった。</p> <p>さらに、開催にかかる来場者周知施策として、岬町全域及び和歌山市紀の川以北、阪南市南部に新聞折込にて開催チラシを配布した。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <p>①府施策連携 事前に大阪府雇用推進室人材育成課と協議し、実施にあたっては人材育成課並びに大阪府技能士会連合会と事業内容や専門家、策定事例などに関する情報交換をおこない、相互連携をはかり、連携したものづくり教室(4ブース：大阪府板ガラス技能士会、大阪府印章技能士会、大阪府調理技能士会、大阪府椅子技能士会)を実施した。</p> <p>②広域連携 岬町商工会、阪南市商工会、泉南市商工会、熊取町商工会、忠岡町商工会の5商工会の広域連携で実施した。「おおさか湾もん産業フェア」開催にかかる課題等について、5商工会の本事業担当の経営指導員間で調整及び連携を図った。</p>

		③市町村連携	岬町の地域振興及び地域経済の活性化・コロナ感染対策で、所轄の産業観光促進と密接に意見交換をおこない、当フェア開催当日の会場案内等を行っていただいた。また、本事業のイベント内容についての情報交換もおこなった。							
		④相談相乗	コロナ感染防止対策のため「大阪府感染防止対策ステッカー」を店舗に掲示してもらったこととした。事業者にはステッカーの取得方法を教え、パソコン操作が不得意な事業者には商工会へ来てもらい、パソコン画面を一緒に見ながらステッカーを取得した。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	70	総支援企業数(実績)	59	支援実績率	84.3%	満足率	100.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>おおさか湾もん産業フェアの出店事業所数は、5商工会の職員及びSNS及び新聞チラシ等の広報活動により、岬町 31社、阪南市 11社、泉南市 9社、熊取町 6社、忠岡町 2社の合計59社でした。また、出店事業所の内訳は、製造業7社、卸売業5社、小売業16社、飲食業17社、サービス業5社、農林水産加工業3社、その他6社となっている。</p> <p>代表指標 自社のPR・売上増加・新規顧客獲得ができた企業の割合</p> <p>数値目標 80% 実績数値 77.9% 目標達成度 97.4%</p>								
	成果の代表事例	岬町で知名度高い「日本料理」のお店が出店。イベント開始後すぐに行列ができ、昼ごろには完売となった。事業所のPRが十分できた。								
	その他目標値の実績	目標値(計画)	7,000名	目標値(実績)	4,500名	目標達成度	64.3%			
		当初、参加店舗数70店舗を目標としていたが、コロナの感染対策を鑑み、取りやめる人気店舗・イベントも多数あったため、参加店が59店舗と少なくなった。それに比例し、来客数も4,500名と下回り、目標達成度は64.3%となった。								
実施結果	<p>課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)</p> <p>コロナ感染者の増加により令和2年・3年度の開催が中止となり、3年ぶりの開催となった。3年ぶりの開催でお客さんが来てくれるか心配したが、久々のイベント開催を待ちわびているお客さんも多く、岬町だけでなく泉州地域・和歌山市からもたくさん来場されました。</p> <p>毎年好評の漁船クルージング・陸上自衛隊の出展中止など、密になるのを避けるために中止となったブースも多く、前回イベントよりも規模を縮小しての開催となったが、来年に向けてより一層コロナ感染対策のガイドラインも確立されることが考えられる。精査は必要となるが中止となったブースが再開する可能性も高い。また、コロナ感染を危惧しイベント参加を見送っていたお客さんも戻ってくると考えられ、来年度は客数が増える見通しである。</p> <p>当事業を実施しているふれあい深日漁港を遊漁、遊覧、釣り等の海洋観光の拠点として観光客の導入を図っていくとともにインバウンド観光客の受け入れ体制も整えつつ、更にPRを強化し、たくさんのお客さんを集める工夫をする。</p> <p>コロナ感染対策と出店企業の意識および商品・サービスを高めることの両立を目標に各出店企業への支援を実施する。</p>									

岬町商工会

事業名		南泉州地域異業種ビジネス交流会事業					
想定する実施期間		H27 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>泉州地域の4商工会管内(岬町、阪南市、泉南市・熊取町)は、商店街の形成が少なく個々の事業所が散在しているため、集客力に乏しい上に大型スーパーの開業やコンビニエンスストアの進出等により、事業所における売上減少及び雇用縮小が続き4商工会管内は事業所数の減少が続いているのが現状である。また、岬町は関西電力多奈川発電所の完全撤退により地域経済は衰退の一途を辿っている。</p> <p>このような中、大阪府における訪日旅行者(インバウンド)は増加しており、このインバウンド客を4商工会管内地域に誘導し、飲食・ショッピング・宿泊等の経済効果に結び付ける仕組みづくりが課題でありビジネスチャンスでもある。</p> <p>そこで、人員・費用等の問題で新しい事業展開の取組みができない個々の事業所が、地域としての一体感および事業所間の連携を自発的におこなえるようにするために本事業(交流会)を実施する。</p> <p>また、「事業承継」問題のことも考える交流会とし、参加事業者が「事業承継」問題に真剣に取り組む、廃業する事業所の減少および事業承継が円滑にできる事業所を増やすことも目的とする。</p>					
	支援する対象 (業種・事業所数等)	4商工会管内(岬町、阪南市、泉南市、熊取町)の事業所数合計5,325社(岬町452社、阪南市1,506社、泉南市2,128社、熊取町1,239社)および創業予定者も対象とする。					
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>令和4年度は、</p> <p>実施日： 令和4年12月16日(金) 18:30~21:30</p> <p>実施場所： クリモト淡輪研修センター</p> <p>支援企業数： 50.5社(岬町23社、阪南市10.5社、泉南市9.5社、熊取町7.5社)</p> <p>実施内容： 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策措置</p> <p>①マスクの着用 ②入場時の手のアルコール消毒 ③入場時の検温→37.5℃以上入場制限 ④セミナーは1人につき1テーブルに座る ⑤交流会は、ミニ交流会とし、名刺交換会とのセットにして実施した ⑥3密防止のために1分間PRは中止した ⑦参加は原則として1企業1名 ⑧3密を避けるため人数制限の実施(例年、参加頂いている市町の担当 日本政策金融公庫等の商工会と関連の深い団体と呼ばなかった。)</p> <p>上記を実施し次のとおり開催した。</p> <p>(第1部) セミナー(18時30分~20時30分)(質疑応答含む) テーマ：「販路開拓等にかかる補助金について」 講師： 中小企業診断士</p> <p>(第2部) ミニ交流会・名刺交換会(20時30分~21時30分)</p> <p>参加された50.5社の自社の概要や製品・商品・サービス及び得意分野などの情報を事前に名簿で渡し、参加者全員に大きな文字の見やすい名札をつけてもらい、名刺交換したい事業所をセミナー終了までに報告、事務局同士で調整し名刺交換ならびに情報交換をしてもらった。名刺交換を待っている間に待っている人同士で「ミニ交流会」として名刺交換をする方の前で実施した。</p> <p>又、ミニ交流会には、「事業承継」の問題についても、交流会の中で取り上げてもらった。</p> <p>例年実施している「1分間PRタイム」は人の密集度が高く3密になる危険性があるため、やむなく中止とした。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td>①岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会による広域連携で実施し、幹事を岬町商工会が務めて4商工会の経営指導員が巡回等により参加事業所の募集をおこなった。 ②実施時期や交流会進行内容は、令和元年度の反省点等を踏まえ、各商工会間で連絡を取り合いながら進めた。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>①岬町・阪南市・泉南市・熊取町に後援依頼し、広報誌等で本事業をPRしてもらった。 ②岬町・阪南市・泉南市・熊取町の地方創生及び商工会担当の課にも出席要請をおこなう予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために出席要請はとり止めた。</td> </tr> </table>	①府施策連携		②広域連携	①岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会による広域連携で実施し、幹事を岬町商工会が務めて4商工会の経営指導員が巡回等により参加事業所の募集をおこなった。 ②実施時期や交流会進行内容は、令和元年度の反省点等を踏まえ、各商工会間で連絡を取り合いながら進めた。	③市町村連携
①府施策連携							
②広域連携	①岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会による広域連携で実施し、幹事を岬町商工会が務めて4商工会の経営指導員が巡回等により参加事業所の募集をおこなった。 ②実施時期や交流会進行内容は、令和元年度の反省点等を踏まえ、各商工会間で連絡を取り合いながら進めた。						
③市町村連携	①岬町・阪南市・泉南市・熊取町に後援依頼し、広報誌等で本事業をPRしてもらった。 ②岬町・阪南市・泉南市・熊取町の地方創生及び商工会担当の課にも出席要請をおこなう予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために出席要請はとり止めた。						

		④相談 相乗	「事業承継」問題についての意見交換の代わりにチラシを配布して説明し、事業承継について積極的に取り組む事業所を支援しカルテ化に繋げるよう努力した結果、当商工会でのカルテ化までは行かなかったが、「事業承継のことが少し理解できた」・「事業承継の必要性を感じた」という事業所が各が17件（全体の32%）あったので、事業承継の重要性を認識してくれた。							
事業 全体 の実績 ／ 目標 達成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	60.0	総支援企業 数(実績)	50.5	支援 実績率	84.2%	満足率	95.9%	
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	南泉州地域異業種ビジネス交流会の参加企業は、4商工会の職員の巡回等により50.5社となり交流会参加の効果においては、「予想以上にあった」14社、「あった」23社で計37社と全体の約7割を占め、また「少しあった」も12社あった。 販路拡大のための必要な取組み（複数回答）としては、「事業所及び製品等のPRができた」が19社（37%）、「他社のビジネス情報の収集ができた」が16社（31%）とコロナ禍にもかかわらず参加企業の約半数以上がそう感じてくれた。 また、「事業承継のことが少し理解できた」が14件（全体の27%）、「事業承継の必要性を感じた」が17件（全体の33%）もあり、事業承継の重要性を認識してくれている企業も3分の1いることが分かった。補助金についてもわかったとの回答が25件（全体の49%）あり、補助金への関心が高かったことが分かった。								
		代表指標	自社のPRができた・新たな取組みができた・事業間連携ができた・販路開拓（取扱い商品等のPR）ができたという企業の割合							
		数値目標	80%	実績数値	75.5%	目標達成度	94.4%			
	成果の代表事例	交流会に参加した企業で、1社が実際に他社と連携できるようになった								
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	令和4年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点（会場の広さからみて、3密を防ぐことが困難だったため。）から交流会のメインである「1分間PRタイム」は、やむなく中止したため参加者は不完全燃焼だったと思われる。当初は「クリモト淡輪研修センター」より会場が広い「海風館」で開催する予定であったが、指定管理者不在により運営していなかったため、「クリモト淡輪研修センター」での開催となった。本事業は平成27年度からスタートし、8年間継続して実施しているため南泉州異業種間での交流を深められたという一定の成果も出ている為、令和4年度をもって終了する。 ついては、今回の事業の中でのセミナーを受けた参加者から、補助金申請等のための事業計画作成の手厚い支援をする事業をして欲しいという意見もあったため、令和5年度は大阪府商工会連合会との広域連携で、事業計画の作成支援のための事業にステップアップする。								

岬町商工会

事業名		おおさか泉南まるごと商店街事業	
想定する実施期間		H24 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	泉南地域は商店街が少なく、その中でも岬町・阪南市・泉南市・熊取町の泉南4地域の4商工会管内は特に商店街が少ない。商業集積は大型・中型のスーパーを核に数ヶ所存在するが、ほとんどの商店は地域の中で散在しているため、大型スーパーやコンビニエンスストアに対抗できず集客力に乏しいのが現状である。さらに、岬町は平成29年4月に第二阪和国道の淡輪から和歌山市間が全面開通し、岬町内市街地を縦断する旧26号線の車両通行量が激減した。その結果、ただの通過点となってしまった岬町の経済活性化対策として物産店等の販路開拓支援をしているが、小規模零細企業の多い泉南地域では、人員・費用等の問題で物産展にすら出店できない事業所が多く存在する。これらの問題を打破し、泉南4地域（岬町・阪南市・泉南市・熊取町）の物産展に出店できない小規模零細企業を積極的に支援するため、商店街が形成されておらずとも実施可能な「おおさか泉南まるごと商店街」事業を開催し、最終的に商店街がなく店舗が点在している地域の見本となることを目指した。	
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南地域4商工会管内の事業所 (岬町452・阪南市1,506・泉南市2,128・熊取町1,239) 合計5,325事業所を対象とする。	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①4商工会の担当者会議を2回開催した。(令和4年7月と10月) ②8月～9月にかけて4商工会の経営指導員が、まるごと商店めぐりの趣旨を説明し参加店募集を行うために巡回活動を実施した。 ③「おおさか泉南まるごと商店めぐり」を次のとおり実施した。 実施日時：令和4年12月9日(金)、12月10日(土)の2日間 開催場所：各参加店舗 参加事業者数：岬町50社、阪南市56社、泉南市50社、熊取町35社 合計191社 ④その他 ●各参加店には「参加店証」および「のぼり旗」を設置してもらい「参加店」が一目でわかるように工夫した。また、令和4年度も「参加店証」をお客様が遠くから見ても目立つデザインと色に変更した。 ●集客力を高めるため、スタンプラリーを実施した。 ●100円商品以外の500円商品と1,000円商品でも参加できるように令和2年度から変更したの で、参加店募集時に粘り強く説明した結果、参加店(支援企業数)は令和3年度より5社減ったが令和2年度より2社多くなった。参加店の参加商品数も増えた。 ●お客様が行きたい店舗の場所をわかりやすくするため、地図にQRコードを付け、QRコードを読み込むことでインターネットで場所を調べることができるようにした。 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>	
		①府施策連携	
	②広域連携	岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会の担当経営指導員で組織した担当者会議を開催し、開催日・参加店募集に関すること・PR方法ならびに詳細事項を協議しながら広域連携で実施した。	
	③市町村連携	岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4市町と連携をしながら進めていき、4市町には後援ならびに広報・HP等でのPRを実施していただき、地域の商業を盛り上げる事業として更に積極的に商業活性化に取り組んでいただいた。	
	④相談相乗	岬町・阪南市・泉南市・熊取町の4商工会の担当経営指導員が、参加店募集のための各店の販路開拓推進ならびに啓発をしながら、100円商店街の趣旨から100円商品の作り方から見せ方等まで、メイン商品へとお客様を誘導する方法から新規顧客開拓に至るまでを支援した。	

	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	185.0	総支援企業数(実績)	191.0	支援実績率	103.2%	満足率	77.0%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>①PR用新聞折込チラシは、参加各企業名並びに100円、500円、1,000円商品の内容を掲載し、令和4年度も令和3年同様に、お買い得商品も掲載し、チラシ1枚でお客様が商店めぐりができるように各地域の商店の地図も掲載した。また、地図にQRコードを掲載し、スマートフォンがあればGoogleマップを表示して行けるようにした。</p> <p>②店舗に居ながらも販路開拓できる「まるごと商店めぐり」に参加することにより、商売の基本は、「消費者に店舗の存在を認識し、店舗に買いに来ていただくこと」であるという基本理念のもと、経営指導員が巡回活動を行った結果、当初計画の185社より6社多い191社に参加していただいた。</p> <p>③各市町による広報及びカラーチラシによるPR活動等により、各地域の消費者に浸透してきた結果、「まるごと商店めぐり」に参加することにより、自店の販路開拓及びPRができたと思った参加店は113社だった。</p> <p>④参加企業からの事後アンケートにおいても、延べ来店者数は1日目5,602人、2日目5,874人（1社来店者平均1日目29人、2日目30人）との回答が寄せられた。</p> <p>また、出店動機（複数回答）は企業のPR 141社、自社商品等のPR 56社、売上の増加 43社、新規顧客の開拓 57社、その他 14社という結果であった。</p> <p>出店の効果についても、「予想以上にあった」9社、「あった」45社、「少しあった」63社、の計117社 61.3%を占めることとなった。</p> <p>参加企業における今後の販路拡大のための施策（複数回答）としては、「企業のPR」133社、「自社商品等のPR」80社、「DM・チラシの発送」20社、「新商品の開発」24社、「イベントへの出店・自社でのイベント開催」16社、「商品パッケージ等のデザイン等の開発」7社、「企業連携」7社、「その他」6社であった。</p> <p>⑤お客様の「おおさか泉南まるごと商店めぐり」への反応を確認するために、前年に引き続いてお客様アンケートを実施した。</p> <p>実施方法は、各商工会に景品交換に來られたお客様全員にアンケートを記入してもらうという方法をとった。</p> <p>その結果、125名のお客様より回答をいただき、満足した：66名（全体の40%）、お店の対応が良い：92名（全体の56%）、事業を継続してほしい：111名（全体の68%）等、「おおさか泉南まるごと商店めぐり」に対する肯定的な意見が多数を占めたため、お客様の反応は良かったと考える。</p>							
		代表指標	100円商店街を通じて店舗のPRができた・売上が増加した・新規顧客を獲得できた・新商品または新サービスを開発したと企業の割合						
		数値目標	55%	実績数値	61.3%	目標達成度	111.5%		
	成果の代表事例	岬町の喫茶店では、チラシの効果があり、新規のお客様ばかりが来店していただけたと喜んでいただけた。							
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	<p>①令和4年度は、参加事業所から、お客様がまるごと商店めぐりのイベントを実施していること自体を知らないお客様が多いという声が多かったので、新聞折込だけでなくSNS等を活用してPRを行うことを検討していきたいと考える。</p> <p>②令和4年度までは、新聞折込の入る地域の地図のみの掲載だったが、お客様から他の市町村の地図のほうが必要ではないかという声があったので、全地域の地図のをチラシに掲載することを考えていく。</p>							